

ローラーポジションインジケータ  
**ROLLER POSITION INDICATOR (HR-H02)**  
【'11~Dio110 (EBJ-JF31)】

車種専用ハーネスキット  
**取扱説明書**

**セット内容**

- 専用ハーネス ●PG-110スピード信号変換機 ●PG-110用アルミステー
  - マグネット(大)、ドーナツ型テープ x各6 ●PG-220回転信号発生器
  - チェック用LED ●タイラップ長(297mm) x2, 短(142mm) x10
- 本製品にはローラーポジションインジケータ本体は含まれません。  
別売りの【RPI-110】¥9,800(税込)が必要です。

**注意事項**

- 本説明書は'11 Dio110 (JF31)に対応する内容で記載致しております。車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- RPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

**取り付け方法**

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。  
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

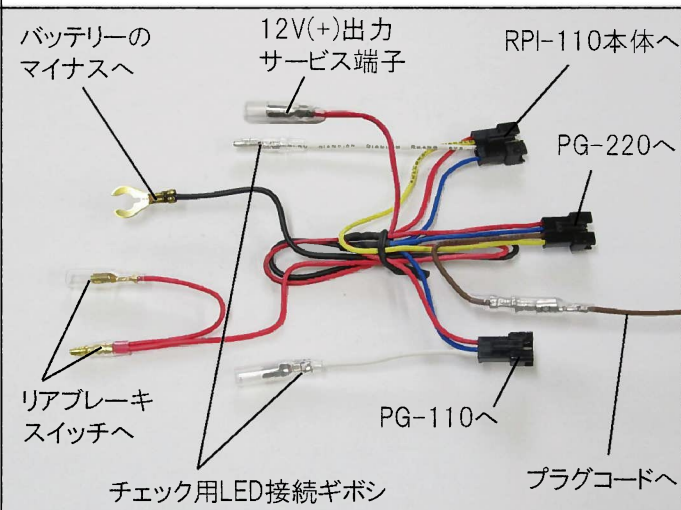
**【取り付け作業の準備】**

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

- ①ヘッドライトカバー、フロントカバーを外します。
- ②右アンダーカバーを外します。



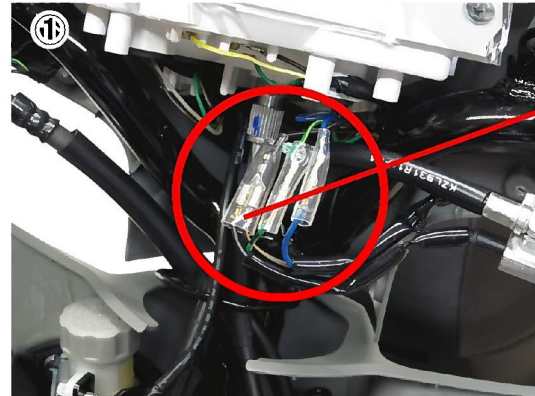
**専用ハーネスの各部への接続先**



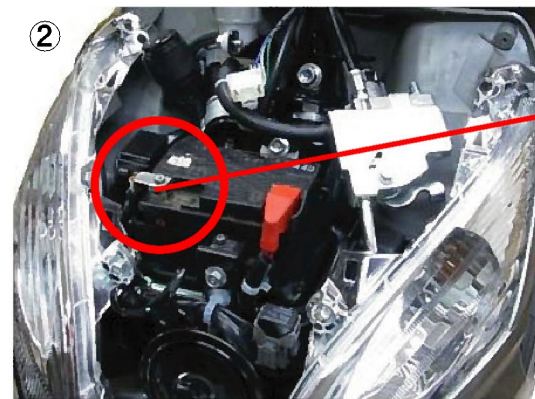
**【専用ハーネスの取り付け】**

- ①専用ハーネスの赤線をリアブレーキスイッチ配線(黒/茶)へ割り込ませます。
- ②専用ハーネスの黒線をバッテリーのマイナス側へ接続します。
- ③専用ハーネスの茶色線をプラグコードに沿わせ、クランプコアで挟んで取り付けます。  
茶色線はフロントカウル内へ取り回し、専用ハーネスの茶色線と接続します。
- ④PG-220[回転信号発生器]をフロントカバー内に貼り付け、専用ハーネスの黒4Pカプラーへ接続します。

※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。



リアブレーキスイッチの黒/茶色線



バッテリーマイナス側ターミナル



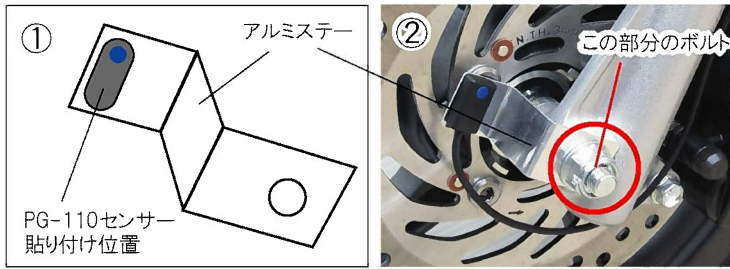
プラグコードに茶色線に沿わせて、クランプコアで挟んで固定します。

**【RPI本体の取り付け】**

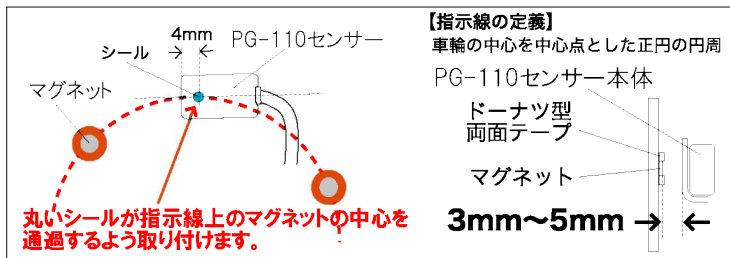
- ①メーター周りのお好みの位置にRPI-110本体を両面テープを使って貼り付けます。  
※ ハンドルを左右に切った際、専用ハーネスやRPI本体の配線に無理な力が加わらないよう取り回し、タイラップで固定してください。  
※ 後ほどローラーポジション設定 並びに、REVインジケータの設定を行いますので仮付けにしてください。
- ②RPI-110本体コードをフロントカバー内の専用ハーネスまで通し、専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。

## 【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

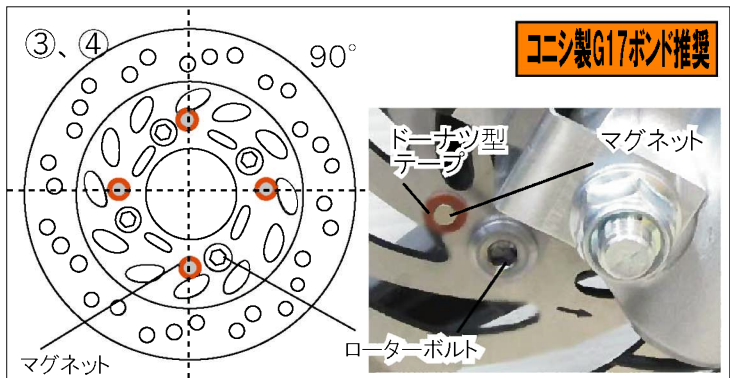
- ①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
- ②PG-110センサー用アルミステーを画像の赤丸で示したアクスルシャフトで共締めします。PG-110センサーとマグネットとの隙間は3～5mmの範囲で調整します。



下の枠内の注意点を参考に  
フロントディスクローターにマグネットを4箇所貼付けます。



- ③ドーナツ型のガイドテープを90° 間隔で貼ります。
- ④マグネットを市販の金属用ボンドを使って貼り付けます。  
※マグネットは必ずホイール中心部に対し90° になるように等間隔に配置します。ディスクローターボルトが90° 間隔に4つありますので、それを目安にしてください。



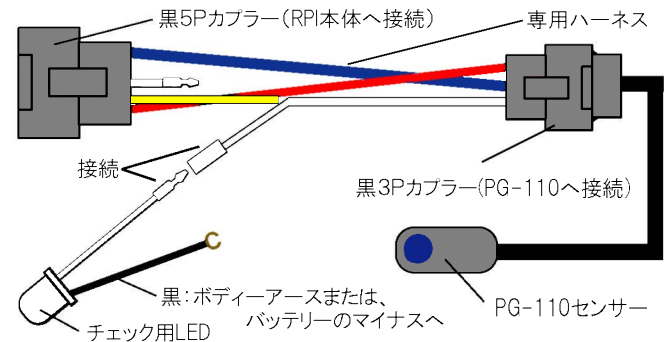
- ⑤PG-110のコードはフロントフォークや、ブレーキホースに沿ってタイラップで縛り、巻き込みやストローク時に引っ張られないように取り回し、専用ハーネスまで通します。  
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続します。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。



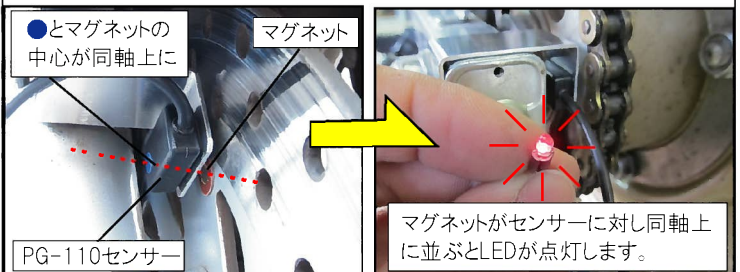
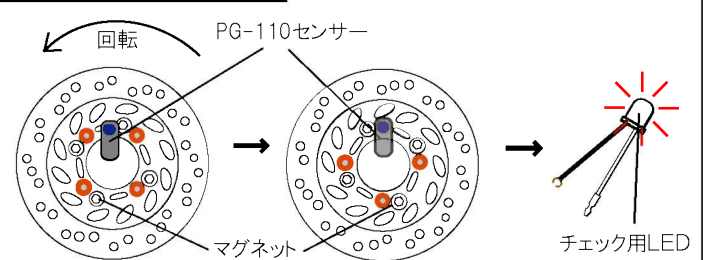
## 【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボン端子を外します。  
チェック用LEDの白線を黒3Pカプラーの白線のメスギボン側へ接続します。
- ②チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)をバッテリーのマイナスへ接続します。
- ③イグニッションキーONにし、フロントホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。全て点灯していれば正常です。

### PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



### チェック用LEDの確認方法



イグニッションキーをONにし、フロントホイールをゆっくりと回転させます。PG-110センサーの青丸シール部分とマグネットを同軸上に合わせるとチェック用のLEDが点灯します。

**※12Vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。**

※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。

**※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、必ず専用ハーネス白線のギボン同士を接続してください。**

※チェック用LEDは12Vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後多目的にご利用頂けます。

■フロントカバー内に専用ハーネス類を収納し、タイラップで縛り、フロントカバー、ヘッドライトカバーを元に戻して完了です。

**ローラーポジション及び、REVインジケータの登録方法や、エラー表示の詳細は、別売りのローラーポジションインジケータ (RPI-110)の取扱説明書をご覧ください**